

エアポート・サービス科グランドハンドリングコース(2年次)教育課程(履修規程第2条別表)

区分	科目	単位数	授業時数	通年科目	半期科目		集中講義科目	定期試験の受験資格		必要修得時数
					前期	後期		講義科目	実験又は実習科目	
一般科目	人間学Ⅱ	2	30		○			○		授業を履修し、試験に合格した科目(修得科目)の授業時数の合計が750時数以上であること
	ビジネスマナーⅡ	2	30		○			○		
	資格取得対策	2	30			○		○		
	英検Ⅱ-1	8	120		○			○		
	英検Ⅱ-2	8	120			○		○		
専門科目	エアラインビジネス-1	2	30		○			○		
	エアラインビジネス-2	2	30			○		○		
	空港業務知識Ⅱ-1	2	30		○			○		
	空港業務知識Ⅱ-2	2	30			○		○		
	コンピュータ実践	2	30			○		○		
	コミュニケーション実践	2	30			○		○		
	ロードコントロールⅡ	2	30		○			○		
	グランドハンドリング業務Ⅱ	2	30		○			○		
	グランドハンドリング実習Ⅱ-1	3	120		○				○	
	グランドハンドリング実習Ⅱ-2	3	120			○			○	
	企業研修教育(基礎)	3	120			○			○	
企業研修教育(応用)	6	270			○			○		
計		53	1200						750以上	

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	前期
授業科目名	人間学Ⅱ		担当教員名	A科常勤教員・学生支援課 (1~12,15回) (14回)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーおよび求められる基礎力について、講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	社会人として必要な基礎知識、ルール、マナーを身につける。 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の必要性を理解し、普段から心掛け実行する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	立派な社会人として活躍できるように、学んだことを普段から実践し身に付けてください。 また、自分の夢を実現させ幸せになるための具体的な行動を考え、実行する習慣が身に付いたかを振り返り、実社会においても成長し続けてください。						
教科書	書名	社会人基礎力講座			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	新社会人講座	(1)良い人間関係を作るには (2)会社の仕組みと組織 (3)社会人としてのマナー
2		
3		
4		
5		
6	社会人基礎力	(1)前に踏み出す力 (2)考え抜く力 (3)チームで働く力 アクティブラーニング(調べる、纏める、発表する)
7		
8		
9		
10※	グループディスカッション	グループディスカッション
11※		
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕活動	清掃活動など

## 2025シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース	開講時期	2年次	前期
授業科目名	ビジネスマナーⅡ	担当教員名	田中 希代子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	内定前・内定後にも有効活用できるヒューマンスキルを磨いていきます。社会人としてのスタートに向けた行動変革と実行力を知識および行動の側面から学習します。				
到達目標 (150文字程度)	①就職内定に向けた社会人基礎力を身につける。 ②自己肯定感とチーム力を身につけ、組織人としてスタートを切る力を習得する。 ③社会人としての一般常識マナーを習得する。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	課題レポート	小テスト	取り組み姿勢
			40%	20%	20%
教員実務経験	客室乗務員における実務経験				
学生へのメッセージ (150文字程度)	先輩や同僚から愛される新入社員を目指し、ベーシックマナーと参画意識を身につけましょう。接遇者として、好感度の高いマナーを身につけます。				
教科書	書名	1年次購入済み		書名	
	書名			書名	
参考書	書名	グループ体験学習ワーク		書名	
	書名			書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)					
回=90分	項目	内容			
1	社会人の基本ルール	あいさつの基本・名刺交換/紹介のしかた・されかた			
2		職場の人間関係の基本①・役職・先輩上司との付き合い方			
3		職場の人間関係の基本②・同期・後輩との付き合い方			
4	業務マナー	報連相の基本(日報・日誌・届け出の書き方・休暇・遅刻・早退・欠勤報告)			
5		社会人としての言葉遣い(敬語・ビジネス慣用語)			
6		指示の受け方(メモを取る)・依頼のしかた/携帯電話のマナー			
7		社会人としての時間管理(始業前・終業・退社・ワークライフバランス)			
8	一般常識マナー	会議の運営(準備・心構え・マナー)			
9		ビジネス文書の基本ルール			
10		手紙のマナー/年末年始の挨拶/お中元・お歳暮			
11		ビジネスメールのルール			
12		冠婚葬祭②			
13		冠婚葬祭①			
14		新社会人としての第一印象(身だしなみ・ビジネス小物・通勤スタイル)			
15	モチベーションマネジメント	自己肯定感/自己管理			レポート

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース		開講時期	2年次	後期
授業科目名	資格取得対策	担当教員名	村山 一成			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格を取得するための知識付与 ②国際空港内車両運転資格取得に向けた知識付与 ③航空機の運航整備補助、地上走行支援業務の知識付与					
到達目標 (150文字程度)	①IATAディプロマ危険物資格が取得可能な知識を習得 ②国際空港内車両運転資格試験に合格できる知識習得 ③運航整備補助、地上走行支援業務の知識習得					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	100%			
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリングスタッフとして必要な資格を早期に取得するため詳細な知識を学びます。知識習得を目指して積極的に授業に臨んでください。					
教科書	書名	DGR 64th Edition		書名	配布資料	
	書名	ICAO-IATA危険物規則の抜粋(2018年度版)		書名		
参考書	書名			書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	IATAディプロマ危険物試験対策	IATAディプロマ危険物コース試験の概要
2		航空危険物輸送規則1～5章
3		航空危険物輸送規則6～10章
4		過去問題の演習及び解説
5		過去問題の演習及び解説
6	国際空港内車両運転資格	空港内運転規則の概要
7		空港内運転規則解説①
8		空港内運転規則解説②
9		空港内運転規則解説③
10		過去問題の演習及び解説
11	運航整備補助、地上走行支援業務	運航整備補助、地上走行支援概要
12		各種誘導信号の理解と対処方法
13		コクピット点検、操作要領および緊急時の処置
14		航空機地上移動の種類、緊急時の処置
15		運航整備補助、地上走行支援業務まとめ

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科				開講時期	2年次	前期
授業科目名	英検Ⅱ-1		担当教員名	荒田 修央			
授業形態	講義	授業時数	120	単位数	8	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検を1年次に引き続きレベルアップさせることを目指す。						
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定準2級合格または同等能力の獲得を目指す。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	課題			
	80%	0%	10%	10%			
教員実務経験	企業間取引現場での通訳 貿易翻訳 留学支援及び英会話指導						
学生へのメッセージ (150文字程度)	英語に対する苦手意識を払拭し道具としての英語を習得できるよう頑張ってください。 英検資格取得をモチベーションとして捉え英語・英会話の学習に取り組んでください。						
教科書	書名	集中2週間完成【1】英語長文(高校初級)			書名	英検3級予想問題ドリル 新試験対応版	
	書名	英検トレーニングゼミ 改訂版 準2級			書名		
参考書	書名	一年時に使用した教科書類			書名		
	書名	英検過去問			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1		英語による自己紹介、年間目標を英作文
2		英検3級予想問題ドリル 第1日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説
3		小テスト 1 英検3級予想問題ドリル 第1日目 長文読解 解説
4		小テスト 2 英検3級予想問題ドリル 第1日目 長文読解 解説(2)
5		小テスト 3 英検3級予想問題ドリル 第1日目 英作文 指導 解説
6		英文日記 取り組み方 プレゼンテーション(1) 第1回確認テスト
7		リスニング、レシテーション
8		英語長文 第1日
9		英語長文 解説 調べもの
10		英語長文 第2日
11		英語長文 解説 調べもの
12		英語長文 第3日
13		英語長文 解説 調べもの
14		第2回確認テスト
15		英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson1
16		小テスト 4 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson2
17		小テスト 5 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson3
18		小テスト 6 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson4
19		文法事項解説 Lesson4まで
20		英検過去問指導 語彙 穴埋め問題
21		英検過去問指導 文法 長文読解
22		英検過去問指導 長文読解 英作文
23		英検2次試験対策 面接練習1 第3回確認テスト
24		英検2次試験対策 面接練習2
25		英検準2級トレーニングゼミワークブックLesson1 リスニングテスト
26		英検準2級トレーニングゼミワークブックLesson2 リスニングテスト
27		英検準2級トレーニングゼミワークブックLesson3 リスニングテスト
28		小テスト7 英語エッセイ作文
29		ディクテーション 導入
30		文法事項の確認・復習 質問

回=90分	項目	内容
31		英検3級予想問題ドリル 第2日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説
32		小テスト 7 英検3級予想問題ドリル 第2日目 長文読解 解説
33		小テスト 8 英検3級予想問題ドリル 第2日目 長文読解 解説(2)
34		小テスト 9 英検3級予想問題ドリル 第2日目 英作文 指導 解説
35		英文日記 レシテーション ディクテーション
36		英語長文 第4日
37		英語長文 解説 調べもの
38		英語長文 第5日
39		英語長文 解説 調べもの 第4回確認テスト
40		クロスワードパズル プレゼンテーション
41		英語長文 第6日
42		英語長文 解説 調べもの
43		英語長文 第7日
44		英語長文 解説 調べもの
45		英語長文 第8日
46		英語長文 解説 調べもの
47		小テスト 10 英検3級予想問題ドリル 第3日目 長文読解 解説
48		小テスト 11 英検3級予想問題ドリル 第3日目 長文読解 解説(2)
49		小テスト 12 英検3級予想問題ドリル 第3日目 英作文 指導 解説
50		英文日記 プレゼンテーション(3) 第5回確認テスト
51		英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson1
52		小テスト 12 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson5
53		小テスト 13 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson6
54		小テスト 14 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson7
55		英検過去問指導 語彙 穴埋め問題
56		英検過去問指導 文法 長文読解 英語長文 第9日
57		英検過去問指導 長文読解 英作文 英語長文 解説
58		英検2次試験対策 面接練習3
59		英検2次試験対策 面接練習4
60		前期総括 テスト対策

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科				開講時期	2年次	後期
授業科目名	英検Ⅱ-2		担当教員名	荒田 修央			
授業形態	講義	授業時数	120	単位数	8	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に求められる資格の一つである英検を1年次に引き続きレベルアップさせることを目指す。						
到達目標 (150文字程度)	実用英語検定準2級合格または同等能力の獲得を目指す。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	課題			
	80%	0%	10%	10%			
教員実務経験	企業間取引現場での通訳 貿易翻訳 留学支援及び英会話指導						
学生へのメッセージ (150文字程度)	英語に対する苦手意識を払拭し道具としての英語を習得できるよう頑張ってください。 英検資格取得をモチベーションとして捉え英語・英会話の学習に取り組んでください。						
教科書	書名	集中2週間完成【1】英語長文(高校初級)			書名	英検3級予想問題ドリル 新試験対応版	
	書名	英検トレーニングゼミ 改訂版			書名		
参考書	書名	一年時に使用した教科書類			書名		
	書名	英検過去問			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1		長期休暇の復習 英文日記 プレゼン	
2		英検3級予想問題ドリル 第4日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説	
3		小テスト 16 英検3級予想問題ドリル 第4日目 長文読解 解説	
4		小テスト 17 英検3級予想問題ドリル 第4日目 長文読解 解説(2)	
5		小テスト 18 英検3級予想問題ドリル 第4日目 英作文 指導 解説	
6		リスニングテスト 第6回確認テスト	
7		リスニング、レシテーション	
8		英語長文 第10日	
9		英語長文 解説 調べもの	
10		英語長文 第11日	
11		英語長文 解説 調べもの	
12		英語長文 第12日	
13		英語長文 解説 調べもの	
14		英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson8	
15		小テスト 4 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson9	
16		小テスト 5 英検トレーニングゼミ準2級テキストLesson10	
17		英検準2級トレーニングゼミワークブックLesson1-Lesson6 リスニングテスト	
18		英検準2級トレーニングゼミワークブックLesson7-Lesson9 リスニングテスト	
19		第7回確認テスト 英語長文第13日	
20		調べもの 料理用語 レシピ	
21		TOEIC#1-#2	
22		TOEIC#3-#4	
23		文法テスト	
24		英検過去問指導 語彙 穴埋め問題	
25		英検過去問指導 文法 長文読解	
26		英検過去問指導 長文読解 英作文	
27		英検2次試験対策 面接練習5	
28		英検2次試験対策 面接練習6	
29		1年生のテキストの復習 質問 英語長文 第14日	
30		1年生のテキストの復習 質問	

回=90分	項目	内容
31		英検3級予想問題ドリル 第4日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説
32		小テスト 19 英検3級予想問題ドリル 第5日目 長文読解 解説
33		小テスト 20 英検3級予想問題ドリル 第5日目 長文読解 解説(2)
34		小テスト 21 英検3級予想問題ドリル 第5日目 英作文 指導 解説
35		英文日記 レシテーション ディクテーション 第8回確認テスト
36		Enjoy Reading Unit9
37		Enjoy Reading 解説 調べもの
38		Enjoy Reading Unit10
39		Enjoy Reading 解説 調べもの
40		Enjoy Reading Unit11
41		Enjoy Reading 解説 調べもの
42		Enjoy Reading Unit12
43		Enjoy Reading 解説 調べもの
44		Enjoy Reading Unit13
45		Enjoy Reading 解説 調べもの
46		Enjoy Reading Unit14
47		Enjoy Reading 解説 調べもの
48		Enjoy Reading Unit15
49		Enjoy Reading 解説 調べもの
50		英文日記 プレゼンテーション(3) 第9回確認テスト
51		英検過去問指導 語彙 穴埋め問題
52		英検過去問指導 文法 長文読解
53		英検過去問指導 長文読解 英作文
54		英検2次試験対策 面接練習3
55		英検2次試験対策 面接練習4
56		英検3級予想問題ドリル 第6日目 筆記試験 単語 熟語チェック 問題解説
57		小テスト 22 英検3級予想問題ドリル 第6日目 長文読解 解説
58		小テスト 23 英検3級予想問題ドリル 第6日目 長文読解 解説(2)
59		小テスト 24 英検3級予想問題ドリル 第6日目 英作文 指導 解説
60		後期テスト対策



## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	2年次 前期	
授業科目名	エアラインビジネス-1	担当教員名	森 久見子 エアポートサービス科常勤講師/一部非常勤講師				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアラインの関連事業を知り、様々な企業の概要、業務を学ぶ 2. 激動する航空業界において、航空業界の最新動向やトレンドを学び、航空業界を取り巻く環境について理解を深める						
到達目標 (150文字程度)	航空業界が日本・世界の様々な政治・経済・社会的な動きに連動し、大きく変動する要素を抱える業界であることを正確に理解し、その最新動向について十分な知識と理解を得る						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	レポート		授業ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系各企業への就職を希望し、今後航空業界に身を置く学生として、航空会社の関連事業や、時事的な話題にも関心を高め、理解を深めることに主眼を置いて受講してください						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、航空会社の事業領域
2	LCCのビジネスモデル	LCCの特徴、FSCとLCCの違い
3	エアラインの競合企業	エアラインの競合相手、様々な輸送機関
4	環境対策	エアラインの環境に関する取り組み
5	航空関連事業	航空関連事業 企業講話1
6		講話1 総括、レポート
7		航空関連事業 企業講話2
8		講話2 総括、レポート
9		航空関連事業 企業講話3
10		講話3 総括、レポート
11		航空関連事業 企業講話4
12		講話4 総括、レポート
13		航空関連事業 企業講話5
14		講話5 総括、レポート
15	まとめ	本講義の振り返り、総括

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	2年次 後期
授業科目名	エアラインビジネス-2	担当教員名	森 久見子		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 最新の航空関連TOPICSをまとめ共有する 2. 航空関連知識の発展形として航空会社の従業員満足、顧客満足への取り組みを学ぶ 3. 国内・海外の地域特性を学び、航空専門学校生目線の課題を抽出する				
到達目標 (150文字程度)	1. 航空関連の時事ニュースのキャッチ力を強化する 2. 航空会社の従業員満足、顧客満足への取り組みを学ぶ 3. 国内地域や海外に視野を広げ、各地の地域特性や課題を洗い出し、エアラインビジネス的提案を考える				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	授業ワーク		
		50%	50%		
教員実務経験	エアラインでの総合的な実務経験				
学生へのメッセージ (150文字程度)	日本や世界の地理的な特色や地域特性を積極的に調べ、エアラインビジネス的課題解決を考えることを繰り返し行い、課題解決力を身につけてください。				
教科書	書名		書名		
	書名		書名		
参考書	書名		書名		
	書名		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、航空基本知識振り返り
2	TOPICS	最新情報の調べ方、発表について
3	CSとES	顧客満足度CSについて
4		従業員満足度ESについて
5	本邦内地域	北海道地方の都市、空港、航空会社、特性、課題
6		東北・北陸地方の都市、空港、航空会社、特性、課題
7		関東・東海地方の都市、空港、航空会社、特性、課題
8		関西地方の都市、空港、航空会社、特性、課題
9		中国地方・四国地方の都市、空港、航空会社、特性、課題
10		九州地方・沖縄の都市、空港、航空会社、特性、課題
11	国際理解	世界の中の日本、国際経済
12	海外地域特性の理解	北米の空港、地域特色
13		ヨーロッパの空港、地域特色
14		アジアの空港、地域特色1
15	まとめ	本講義の振り返り、総括

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-1		担当教員名	村山 一成				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	① 人間の行動特性から起こりうるヒューマンエラーの仕組みを理解し、そのエラーコントロール手法を習得する。 ② エラー防止の実践と定着をめざす。 ③ 企業における安全風土の意識づくりの重要性を理解する。							
到達目標 (150文字程度)	人間はエラーを起こしやすく、小さなエラーを発端として大きな事故に繋がっていく。そのメカニズムを確実に理解し、危険予知の手法を学ぶことで自分自身を守り、かつ職場の仲間を守る安全な職場環境にするための基礎知識を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン系企業によるグランドハンドリング実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	安全は航空業界に関わらず、すべての業務において最も重要な課題です。今後、さまざまな業務に携わっていく者として、まず自分を守ること、仲間の安全を守ることを常に意識できるよう授業に望み、知識を積極的に吸収してください。							
教科書	書名	HF's訓練パワーポイント			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	オリエンテーション	ヒューマンファクターズについての進め方及び評価方法
2	HF's基本原理	ヒューマンファクターズの基礎
3	ヒューマンファクターズとは	人間の要素と行動思考との関連性を理解
4	人間の特性	人間の脳の情報処理
5		メカニズムを理解
6	エラーの分類と対策	エラータイプの理解
7		エラーを増加させる要件
8	バイオレーション	バイオレーションの理解と防止
9	環境・健康と安全	環境が安全行動に及ぼす影響を理解
10		健康が安全行動に及ぼす影響を理解
11	チームコーディネーション	多人数で「行動することのメリット」を学ぶ
12		
13	エラー防止の実践法	エラーコントロールを理解
14	ケーススタディ	エラーの防止法について理解
15	グループ討議、発表	ビデオ視聴によるエラーの発見と対処についてグループごとに討議。結果を発表し各個人の理解力を深める。

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	空港業務知識Ⅱ-2		担当教員名	田中 陽彦				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	各担当の業務上の知識だけに留まらず、空港施設や空港内における様々な規則、ルールについての理解を深める。							
到達目標 (150文字程度)	空港内における様々な規則、ルールを理解すると共に業務間の繋がりを相互理解する。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	100%					
教員実務経験	空港内に於いての実務経験者							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務に関する幅広い知識の習得に積極的に取り組んでください。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	空港特性	現行各航空会社で運用されている機種の説明と用途について
2		航空機を運航するにあたっての各関連セクションとの繋がりについて
3		日本国内で旅客便が就航している空港の特性と問題点について
4		各空港における規則の相違点について(空港特性)
5		空港保安に関する過去事例と対策について
6	空港内における異常時の対応	空港内における気象に関する各警報の意味と対応方法について
7		航空機出発作業時に遅延した際の遅延理由コードの構成と意味及び時間管理の重要性について
8		各機種で決められている標準作業工程と各セクションの役割について
9		悪天候下において空港がどのように運用されているのかについて
10	空港内の保安と安全	航空貨物扱いの危険物と手荷物扱いの危険物取扱上の相違点について
11		新聞等にて報じられる航空業界の事例について
12		空港内に於いて発生した過去の事故・イレギュラー事例を取り上げ原因と対策を研究する
13	航空業界について	日本の航空輸送の現状と今後の発展について
14		日本国内における空港の現状と今後の展開について
15	まとめ	総括

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次		後期	
学科・コース名	エアポートサービス科			キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	コンピュータ実践			担当教員名	森 久見子					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2		選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	コンピュータネットワークの基礎知識とウィルス対策を学習し、ワープロソフト(Microsoft Word)、表計算ソフト(Microsoft Excel)、プレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point)で基礎的な使用方法を習得する									
到達目標 (150文字程度)	パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、タッチタイピングを身につけ、空港業務に活かせる基本的スキルを習得する									
評価方法	定期試験			その他の評価方法						
	筆記試験	レポート	授業ワーク	100%						
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理									
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港業務でも報告書や提案書、案内文を作成する機会は多々あります。コンピュータ教室で各々PCを使用し、繰り返しの実践で基本的な操作に慣れ、デスク業務においても即戦力となれるよう取り組んでください									
教科書	書名	なし			書名					
	書名				書名					
参考書	書名	J検情報活用3級完全対策公式テキスト			書名					
	書名				書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	コンピュータ教室の使い方、コンピュータ関連の基礎用語、文字入力基礎
2	インターネットとウィルス対策	ネットワークの基礎知識・インターネットの脅威
3	タイピング	キーボード操作(タッチタイピング練習)
4	Word	Wordの基本操作、文書作成演習
5		文書の作成
6	Excel	Excelの基本操作
7		基本的な四則演算と関数
8		
9	グラフ作成	
10	Power Point	Power Pointの基本操作
11		資料のデザイン、演習
12		プレゼンテーション資料の作成
13		
14	ビジネスメール	ビジネスメールの基礎
15	まとめ	本講義の振り返り、総括

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目							
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グランドスタッフコース		開講時期	2年次	後期		
授業科目名	コミュニケーション実践		担当教員名	森 久見子					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修		
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	伝える力としての非言語・言語表現力「文章」「会話」を中心に、テーマ別に学び社会人としてのコミュニケーション基礎力を体得する								
到達目標 (150文字程度)	2WAYコミュニケーション、論理性、語彙力に重点を置き、自分の伝えたことが相手にすべて伝わる訳ではないことを話し手と聞き手共に理解した上で、実践練習を通し、自己と他者の差異を超えグローバルに協働できるコミュニケーション力を身に付ける								
評価方法	定期試験			その他の評価方法					
	筆記試験	レポート	授業ワーク						
		50%	50%						
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理								
学生へのメッセージ (150文字程度)	社会人デビューに向けて、コミュニケーション力に磨きをかけます。毎回の実践練習ワークに積極的に参加し、自己本位のコミュニケーションから、相手が理解しやすいコミュニケーション力へとマインドセットしてください								
教科書	書名	なし			書名				
	書名				書名				
参考書	書名	コミュニケーション・スキルの学び			書名	文章力の基本の基本			
	書名	雑談力が上がる話し方			書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	授業の説明 日本語の基本
2	説明する	説明力を高めるポイント
3	要約する	文の基本形・簡潔に書く
4	的確に書く	わかりやすく・的確に書く
5	共感を得る	より共感を得やすい表現、メタファー
6	雑談をする	雑談力を身につける
7	司会進行をする	会議の司会進行をする
8	正しい敬語の確認	間違いやすい敬語、コンビニ用語を避けて正しい敬語を使う
9	説明力の向上	話し方、発生
10		朗読練習
11	インタビューをする	相手の話を聞き出す
12	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントの必要性と実践
13	ダイバーシティ&インクルージョン	アンコンシャスバイアス、ダイバーシティ&インクルージョン
14	チームビルディング	グループディスカッション
15	まとめ、成果確認	

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	ロードコントロールⅡ		担当教員名	浅田 健一				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要	ロードコントロールⅠで学んだ航空機の重量重心管理及びロードコントロール業務の基礎を生かし、より実践的な空港業務を理解する。							
到達目標	実践的な搭載重量・重心位置管理の算出及び搭載計画・Weight&Balance Manifestの模擬作成ができる知識を習得する。 また、ロードコントロールと空港業務の位置づけを理解する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	90%		10%					
教員実務経験	エアライン企業におけるロードコントロール実務経験							
学生へのメッセージ	ロードコントロールⅠで学んだことを深め、生かせる知識を身につけましょう。 搭乗業務を知ることで空港業務を理解しましょう。							
教科書	書名	なし			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	なし			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ロードコントロールⅠ (リマインド演習)	ロードコントロール業務について
2		重心位置・水平尾翼について
3		重量と航空法
4		重量②
5		ATOWの算出
6		ペイロードの算出
7		各重量の算出
8		Weight&Balance Manifest ALIGNMENTとINDEX
9	空港業務との繋がり	空港業務とWeight&Balanceの関係(オペレーション部門)、OMCについて
10		空港業務とWeight&Balanceの関係(旅客ハンドリング)
11		空港業務とWeight&Balanceの関係(グランド・貨物ハンドリング)、ULDについて
12		ヒューマンファクター・ヒューマンエラー
13		航空機事故事例紹介・フレーター業務
14	復習	まとめ①
15		まとめ②

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	グランドハンドリング業務Ⅱ	担当教員名	田中 陽彦					
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	多様化するグランドハンドリング業務において、整備補助業務の作業内容と搭降載業務以外の地上支援業務の基礎知識を学ぶ。							
到達目標 (150文字程度)	地上支援業務と整備補助業務の内容を理解し、航空機を安全にハンドリングするための基礎知識を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢					
	80%		20%					
教員実務経験	グランドハンドリング業務実務経験者							
学生へのメッセージ (150文字程度)	グランドハンドリング業務に携わる者として、搭降載業務以外のセクションの知識と関係および整備補助業務についての知識を積極的に吸収して下さい。							
教科書	書名	航空機のグランドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	復習	1年次に学んだ内容の確認
2	誘導作業	マーシャリング及びウイングウォッチ作業の重要性と合図・動作について
3	搭載・取り出し作業	各機種の旅客乗降ドアの構造と操作方法について
4		各機種のCARGO DOORの構造と機構・操作方法について
5		航空機への搭載・取り出し作業について
6		貨物便と旅客便における搭載/取り出し作業工程の違いについて
7		旅客便と貨物便の危険物輸送の相違点について
8	その他地上支援業務	機体地上サービスに関わる作業の種類と内容について
9		客室サービス作業の種類と内容及び時間管理について
10		機体の除雪・防氷作業の必要性と種類及び意義について
11	関連知識	航空機の運航パターンと運航スケジュール表の見方から時刻管理の重要性について
12	安全	空港安全講習に備えて空港規則を理解する
13		過去に発生した空港内での不安全事象の発生原因と対策を考え安全に対する意識向上を図る
14		
15	まとめ	総括



## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	前期
学科・コース名	エアポートサービス科	グラウンドハンドリングコース						
授業科目名	グラウンドハンドリング実習Ⅱ-1	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・小川 健・田中 敏・熊澤 成弘					
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	実技試験	取り組み姿勢				
			90%	10%				
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にてより実践に近い形で習得します。							
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名			
	書名				書名			
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~15	フォークリフト (FL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>FL車の性能諸元や荷役機能の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>走行前の保守点検方法を理解し、点検用紙の記入方法を学ぶ。</li> <li>FL車特有の機能、取り扱いの基礎を理解する。(後輪操舵による走行時の注意点、荷役作業時の注意点、ディーゼルエンジンの始動方法)</li> <li>走行、荷役操作における確認ポイントの理解。</li> <li>車両誘導方法を理解する。</li> <li>貨物の積み付け、移動が単独で行えるよう技術を習得する。</li> </ul>
16~25	ベルトローダー (BL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ベルト部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。</li> <li>機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>バラ積み貨物の機内への搭載方法を理解する。</li> <li>運転手と誘導者はとの連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>
26~35	プッシュバック作業 (VR)	<ul style="list-style-type: none"> <li>VRを使用しての実習についての趣旨を理解する。</li> <li>VRを使用してPBについて理解する。</li> <li>VR内にて機体を安定して真っすぐ押し出せる技術を確認、理解する。</li> <li>VRの特性を活かし、何故禁止であるか、何故危険であるかを疑似体験する。</li> </ul>
36~60	ハイリフトローダー (HL)	<p>【座学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車両の特性、諸元を理解し、走行並びに機体への装着、離脱における注意点、確認のポイントを理解する。</li> </ul> <p>【実技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、ストッパー、等の著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>機体への装着時の注意点を理解し、走行、操作方法を習得する。</li> <li>CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。</li> <li>操作者と誘導者との連携方法を理解し、円滑な操作が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グラウンドハンドリングコース				
授業科目名	グラウンドハンドリング実習Ⅱ-2	担当教員名	田中 陽彦・村山 一成・小川 健・田中 敏・熊澤 成弘				
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港内におけるグラウンドハンドリング業務全般の実技及び車両機材の走行、操作をより実践に合わせた形で知識を習得する。						
到達目標 (150文字程度)	車両の点検方法、特性を理解し、フォークリフト、ベルトローダー、ハイリフトローダーの走行、操作、装着技術を習得する。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	実技試験	取り組み姿勢			
			70%	30%			
教員実務経験	航空会社におけるグラウンドハンドリング業務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港における機側周りで使用される本物の車両、器材を専用実習場にて、より実践に近い形で習得します。						
教科書	書名	航空機のグラウンドハンドリング			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	教員作成のグラウンドハンドリングテキスト			書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~15	トローイングトラクター (TT)  プッシュバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>車両の特性、貨物移送装置の特性、取り扱い上の注意点、点検方法を理解し、機体への装着における走行操作の注意点を理解する。</li> <li>パレット連結を誘導者と共に安全に実施出来るよう技術を習得する。</li> <li>パレット連結をした状態で搬送及び駐車が出来よう技術を習得する。</li> <li>エンジンルーム内の点検、外観からブレーキ機能、ヘルム部の著しい損傷がないかの点検方法を理解する。</li> <li>ダミーシブを使用しプッシュバック作業が実施出来るよう技術を習得する。</li> <li>VR(プッシュバック)の違いを理解し、安全を最優先に判断でき、状況に応じ中断の判断が出来るようにする。</li> </ul>
16~30	ハイリフトローダー (HL)	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンジンルーム内点検、外観から車両の異常、ローラー、スッパ、等の著しい損傷がないかの点検を実施。</li> <li>取り扱う上での注意点を理解し、操作方法を理解する。</li> <li>CD、PDを実際にHLに搭載し、各操作類の取り扱いを理解する。</li> <li>操作者と誘導者との連携方法を理解し、様々な様式のある搭載指示書を基に円滑な搭降載作業が出来るよう技術を習得する。</li> </ul>
31~60	GSE管理、修繕方法、 維持管理方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習場内各GSEの管理方法について理解する。</li> <li>GSE(HL BL TT エアストリーム パレットドーリー コンテナドーリー BULKカート)及びULDの保守管理方法について。</li> <li>ULD保管に関わる内容を理解し管理する。</li> <li>GSE修繕、管理方法について理解し、状況に合わせて修繕を施す。</li> <li>GSEへの注油方法を理解し施す。</li> </ul>

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		グランドハンドリングコース					
授業科目名	企業研修教育(基礎)		担当教員名	村山 一成 ・ (委託先企業)				
授業形態	実習	授業時数	120	単位数	3	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
			企業実習評価	勤務状況				
			80%	20%				
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名				書名			
	書名				書名			
参考書	書名				書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~30	基礎座学・初期教育	航空会社の基礎知識の取得と初期教育の定着
31~60	実務業務(基礎)	各空港における基礎的な実務業務の実施

## 2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期		2年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	グランドハンドリングコース						
授業科目名	企業研修教育(応用)	担当教員名	村山 一成 ・ (委託先企業)					
授業形態	実習	授業時数	270	単位数	6	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職先企業の早期研修として、空港における実務業務を担当する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と社員としての実務経験を積む。							
到達目標 (150文字程度)	就職先企業における社員としての貢献と円滑な定着及び社会人としての一般常識や経験の蓄積を図る。							
評価方法	定期試験		その他の評価方法					
			企業実習評価	勤務状況				
			80%	20%				
教員実務経験								
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職はこれからの長い人生の基盤であり、就職先企業の入社当初から社員及び社会人としてのしっかりとした責任意識と役割責任を果たすよう努めて頂きたい。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~75	実務業務(応用)-1	各就職先企業の担当業務における基礎的な実務業務の着実な実施と定着
76~135	実務業務(応用)-2	各空港における実務業務の担当範囲の拡張と品質改善